

自己点検・自己評価 報告書

平成27年度

評価対象期間
平成27年4月1日～平成28年3月31日

学校法人 赤門学院

専門学校 赤門自動車整備大学校

(1)教育理念・目標

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)		3
学校における職業教育の特色は何か		3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		2
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか		3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		3

[1.課題]

各資料に明記はあるものの、実際の取り組みは各先生に一任され、学校としての具体的な取り組み方法は定められていない。

[2.今後の改善方策]

自動車業界の変化に対応するため、学校理念・目的・育成人材像の見直しも含めた定期的な検討を実施し取り組みについても具体化していく

[3.特記事項]

(2) 学校運営

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	2	
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	
人事、給与に関する規程等は整備されているか	2	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	

[1.課題]

年度初めに示される運営方針に対する教職員等の意思の統一があまりされていないという意見が多い。組織編制等の意思決定システムは整備はされているが、やはり、現場に対する情報の公開と共有、状況の説明、意思疎通が不足しているのではないだろうか。

[2.今後の改善方策]

組織図に基づく意思決定システムを立場の異なる複数人によるシステムにし、意思の疎通を図るようになれば、多くの諸問題が解決するのではないだろうか。

[3.特記事項]

--

(3)教育活動

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	2
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

[1.課題]

職員の能力向上に対する研修に不備があり知識・技能についての向上が必要。

[2.今後の改善方策]

研修等により能力向上を図るうえで 外部の研修機関での研修を多く取り入れることが必要。

[3.特記事項]

(4) 学修成果

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	3
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

[1.課題]

学生間の交流を図るためのイベントが多く、その準備等に授業時間が削られたり、休みの日が移動したりするため混乱することがある。
1校時あたりの授業時間が長いため、教科書のページが進むのが早く休むと遅れを取り戻すのが大変である。

[2.今後の改善方策]

卒業生から実務経験上、学校で学ばせられる内容があるか、聞き取りを行い授業に反映できるか検討していく。

[3.特記事項]

平成27年度は就職・進学率100%であった。

(5) 学生支援

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	2
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

[1.課題]

長期休み期間、寮に居られず、アルバイトを休むため生活費に困る学生がいる。図書室・保健室の設備を充実させてほしいと要望あり。社会人としての教育環境の整備や他の高校・高等専修学校とのキャリア教育・職業教育取り組みが不足している。

[2.今後の改善方策]

学生個人の情報を早期に把握し、奨学金制度の活用等の経済的支援を強化する。図書室等の設備を随時整備する。ソーシャル検定の受験準備等は授業の中でも取り入れて行く。高校生の職業体験なども積極的に受け入れ実施する。

[3.特記事項]

今後も学生へのアンケート等を実施し学生が満足する環境が提供して行けるよう努力する。

(6)教育環境

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2
防災に対する体制は整備されているか	3

[1.課題]

使用されていない教材や車両の整理に不備があり乱雑に見える。
実践校として校外実習等が確立されていない。

[2.今後の改善方策]

使う予定のない機材や教材は計画的に破棄する。
企業での校外実習の受け入れ先の確保。

[3.特記事項]

--

(7) 学生の受入れ募集

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	2

[1.課題]

学生募集活動において、学校案内パンフレット等で広く情報の提供を行っているが、地域や学年によって進路ガイダンスへの参加が難しく、進路選択検討中の生徒との直接的なコンタクトが出来ない状況にある。Wスクールの3級科に特化した募集活動として広報スタッフおよび3級科教員も授業の合間をみて中学校訪問を行う体制だが高等学校との学費の差が大きな要因の1つとして入学生不足は否めない。やはり、他校との競争に対し優位性を持つ対応策が求められる。

[2.今後の改善方策]

入学生増の取組として、日本語学校卒業の留学生受け入れ体制の強化と高校進路ガイダンスについて、地域・学年を問わず参加が出来るように改善を望む。Wスクールの3級科について、早い時期からの中学校訪問(広報・3級科教員)と上級学校訪問・職場体験の積極的な受け入れで整備士の魅力を伝え入学生の確保に繋げる。

[3.特記事項]

募集に影響する資格取得率・就職率の実績が評価判断材料であり、教育レベルの維持向上と改善が欠かせない。
学校の全体像が伝わるパンフレットは2年ごとに作成をしている。
平成28年度は「職業実践専門課程」学科として1・2級科の両学科が文部科学省に認定された。企業と連携して高度な実践的教育環境も整っている。

(8)財務

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2
財務について会計監査が適正に行われているか	3
財務情報公開の体制整備はできているか	3

[1.課題]

税理士指導による会計処理と監事2名による監査等常に適正な財務処理を心掛けている。近年は、過大な設備投資等を行っていないので、財務基盤は、安定はしている。ゆえに、設備の老朽化もあり、新入生確保のためにも思い切った設備投資が必要の指摘有り。

[2.今後の改善方策]

財務内容から見た適正かつ有効な設備投資が急務であろう。そのためには、将来を見据えて中長期にわたる財務計画を策定していく。

[3.特記事項]

平成26年度から、情報公開の一端として、HPによる、計算書の公開も行っている。

(9) 法令等の遵守

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
自己評価結果を公開しているか	3

[1.課題]

法令等の最低限の遵守はなされているようだが、個人情報の保護に関しては、個人レベルの自覚に負うところが多いので対策が必要。

[2.今後の改善方策]

これらの自己評価により指摘された問題点等を少しでも改善すべく、なんらかのかたちで努力していくべきであろう。

[3.特記事項]

今後の改善の為には、教職員等1人1人の意識の改善も必要であろう。

(10) 社会貢献・地域貢献

項目名	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2

[1.課題]

学校としてボランティア活動は実施していない。ある程度ボランティア活動に対する理解が必要。

[2.今後の改善方策]

学校としてなにか地域に貢献できるボランティアを検討。
学校の特色を生かしたボランティア活動を行おうとする学生に対する支援を行う。

[3.特記事項]